

問1 「市に居住する者は自由に領内を往来してよい」「市場の税を免除し、自由な商売を行うことを認める」といった内容の布告を織田信長が出した目的として、最も適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 城下町の商業を盛んにして、天下統一のための経済力を蓄えるため
2. 農民と商人の身分を明確に区別し、土地の所有権を確定させるため
3. キリスト教の布教を制限し、寺院の勢力を抑えるため
4. 武器の使用を制限することで、農民による一揆を未然に防ぐため

問2 15世紀末から16世紀にかけて、ヨーロッパ人がアフリカ大陸の南端にある喜望峰を經由し、インドへ到達する直接の航路を開拓しました。この航路を開拓し、アジアとの直接貿易の道を開いた人物は誰ですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. ヴァスコ・ダ・ガマ
2. コロンブス
3. マゼラン
4. バルトロメウ・ディアス

問3 織田信長や豊臣秀吉の時代には、大名の権威を象徴するような豪華で壮大な文化が栄えました。この時期に活躍した絵師の狩野永徳が、金箔を背景に力強い獅子を描いた「唐獅子図屏風」などの作品を残した文化の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 桃山文化
2. 天平文化
3. 元禄文化
4. 化政文化

問4 ポルトガル人によって伝えられた鉄砲は、戦国時代の社会に大きな影響を与えました。鉄砲が普及したことによる歴史的背景や影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 鉄砲の製造には高度な技術が必要だったため、堺などの自由都市が経済的・政治的な力を強めた。
2. 鉄砲は非常に高価であったため、伝統的な武士による一騎打ちの戦い方がより重視されるようになった。
3. 鉄砲の普及をきっかけに、江戸幕府は鎖国を宣言してポルトガルとの貿易を直ちに禁止した。
4. 鉄砲の弾丸となる鉛を国内で自給するため、織田信長は日本中の鉱山を直轄地として支配した。

問5 太閤検地によって作成された「検地帳」と、それが社会に与えた影響について述べた文として、正しい事柄を説明しているものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 耕作を行う農民を検地帳に登録することで、公家や寺社の土地権利を排除し、農民に年貢の納入義務を負わせた。
2. 全国の武士の名前を検地帳に登録し、武士自らが農村に住んで土地を直接耕作することを奨励した。
3. キリスト教の信仰を禁じるために作成され、寺社の権利を強化することで農民の反乱を抑え込もうとした。
4. 農民から武器を没収した記録をまとめたものであり、これによって公家や寺社の軍事力を奪うことに成功した。

問6 1587年、豊臣秀吉は宣教師の国外追放を命じる「バテレン追放令」を出しましたが、その後もしばらくの間、キリスト教の禁止は徹底されませんでした。その理由として最も適切な説明を選んでください。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. ポルトガルなどとの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため
2. 宣教師が日本国内の寺社を修復し、仏教を保護することを約束したため
3. 当時の有力な大名たちの多くがキリスト教を信仰しており、秀吉が彼らの反乱を恐れたため
4. ヨーロッパ諸国との間に、キリスト教の布教を認める正式な外交条約を結んでいたため

問7 織田信長が自身の権威を示すために築いた安土城などの城郭において、内部のふすまや壁を豪華に彩るために描かれた、この時代を代表する絵画の形式を何といいますか。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 障壁画
2. 浮世絵
3. 水墨画
4. 鳥獣戯画

問8 千利休が完成させた「わび茶」に関する説明として、その背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 禅の教えの影響を受け、豪華さよりも簡素で精神的な静けさを重んじる形式。
2. 鎌倉時代に中国から伝わった、茶を薬として用いるための医学的な作法。
3. 江戸時代の町人文化から生まれ、華やかな金箔や装飾を多用する形式。
4. 南蛮貿易によってもたらされた西洋の生活習慣を取り入れた、新しい茶の儀式。

問9 16世紀のドイツでルターらが始めた宗教改革の影響により、カトリック教会は勢力を立て直すために海外布教を強化しました。この流れの中で、1549年に鹿児島に来航し、日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師は誰ですか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. フランシスコ・ザビエル
2. ルイス・フロイス
3. ヴァスコ・ダ・ガマ
4. マルコ・ポーロ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 城下町の商業を盛んにして、天下統一のための経済力を蓄えるため	信長は、戦国大名としての勢力を拡大するために、流通の拠点となる城下町に多くの商人を集める必要がありました。税を免除し、従来の座のしがらみをなくすことで、物資の集散を活発にし、その経済力を軍事費や政治工作の資金源としました。
問2	答え 1 ヴァスコ・ダ・ガマ	ポルトガル王の命を受けたヴァスコ・ダ・ガマは、1498年にアフリカ南端を回ってインドのカリカットに到達しました。これにより、イスラム勢力やイタリアの都市国家を介さずに、アジアの香辛料を直接ヨーロッパへ持ち帰ることが可能になりました。
問3	答え 1 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が権力を握った時代を安土桃山時代と呼び、この時期の文化は「桃山文化」と称されます。力強い筆致や豪華な色彩を特徴とする屏風画は、新興の武士や豪商の活力を反映しており、狩野永徳はその代表的な絵師です。天平文化は奈良時代、元禄文化と化政文化は江戸時代の文化を指します。
問4	答え 1 鉄砲の製造には高度な技術が必要だったため、堺などの自由都市が経済的・政治的な力を強めた。	鉄砲の国産化が進むと、高い金属加工技術を持つ職人が集まっていた堺（大阪府）などの都市は、鉄砲の主要な生産地として急速に発展しました。これらの都市は「会合衆」と呼ばれる豪商たちによる自治が行われ、強力な経済力と鉄砲の供給能力を背景に、戦国大名に対しても強い影響力を持つようになりました。
問5	答え 1 耕作を行う農民を検地帳に登録することで、公家や寺社の土地権利を排除し、農民に年貢の納入義務を負わせた。	秀吉は全国一律の基準（ものさしや枅の統一）で測量を行い、土地の生産力を「石高」で表しました。その結果を記録した検地帳に耕作する農民の名を記すことで、それまで存在した公家や寺社の権利（中間搾取）を認めないこととしました。これにより、農民は土地の耕作権を認められる一方で、領主に対して年貢を納める責任を明確に負わされることになりました。これは兵農分離を推進する大きな要因ともなりました。
問6	答え 1 ポルトガルなどとの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリスト教の広まりや宣教師が寺社を破壊している状況を目の当たりにし、バテレン追放令を出しました。しかし、同時に南蛮貿易による経済的利益や軍需品の入手を重視していたため、貿易船の来航は禁止しませんでした。貿易と布教を明確に切り離すことが困難であったため、結果としてキリスト教の禁止は不徹底なものにとどまりました。
問7	答え 1 障壁画	安土桃山時代、戦国大名は自らの富と力を誇示するために、壮大な城郭を築きました。その内部を飾るために、金箔をふんだんに使い、力強い筆致で描かれたふすま絵や壁画は障壁画と呼ばれ、桃山文化の豪壮な特色を象徴しています。
問8	答え 1 禅の教えの影響を受け、豪華さよりも簡素で精神的な静けさを重んじる形式。	千利休が完成させた「わび茶」は、禅宗の「無駄を省き、本質を見極める」という精神を背景としています。当時の大名たちが好んだ豪華絢爛な文化とは対照的に、あえて狭い茶室や質素な道具を用いることで、主客の精神的な交流を深めることを目的としていました。
問9	答え 1 フランシスコ・ザビエル	ドイツのルターがカトリック教会の免罪符販売などを批判して始まった宗教改革により、ヨーロッパではプロテスタントの勢力が拡大しました。これに対し、カトリック側はイエズス会を結成してアジアなどへの布教を積極的に行いました。その創設メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルは、インドのゴアを経て日本にキリスト教をもたらしました。